

プライマリ・ケアレクチャーシリーズ

吸入療法のいろいろ



2024年12月5日

砂川市立病院 看護部

慢性疾患看護専門看護師

慢性呼吸器疾患看護認定看護師

能見真紀子

A scenic landscape featuring snow-capped mountains in the background, a calm lake in the middle ground reflecting the sky and mountains, and a small building with two towers on the right. The foreground shows green grass and some trees. A large, semi-transparent white circle is overlaid on the left side of the image, containing the text.

吸入療法の概要

吸入療法の多職種連携

吸入療法のセルフケア支援

吸入療法①：吸入療法の重要性

吸入療法は呼吸器疾患の急性増悪を予防しQOLを向上するとともに有益な方法です。

気道に直接到達し作用する有効な治療法
経口薬よりも格段に使用量が少なく、副作用が少ない

COPDや気管支喘息では、診療ガイドラインにおいても吸入療法を中心とした治療が推奨されています。

患者や医療従事者が吸入療法の重要性や安全性を認識することが大切です。

吸入療法は
器具（デバイス）
ごとにコツが
あるのね



- 👉 **吸入療法によるセルフケアを継続するためには以下のことが大切です**
- ✓ 関連する医療従事者すべてが常に患者の服薬状況に目を配る
 - ✓ 吸入指導は1回だけでなく、定期的に繰り返す
 - ✓ 言葉による説明だけでなく、実際に手技をやってみせ、その場で患者にやってもらい確認する

吸入療法②：デバイス編（ブリーズヘラー）



シーブリ
吸入気管支拡張剤

オンブレス
吸入気管支拡張剤

ウルティプロ
①+②が合体

長時間作用型
抗コリン薬

長時間作用型
β₂刺激薬

- 小型で携帯しやすく、取り扱いが簡単である。
- 1日1回の使用で24時間効果が持続する。
- 穴を開けたカプセルから吸気力により薬剤が放出されるため、同調の必要がない。
- 目で見る、耳で聞く、舌で感じることで吸入を確認することができる。
- カプセルが無色透明なので吸入確認が容易である。
- 必要吸気流速は50L/分である。✖

✖「そばをすする強さ」、「ジュースをストローで吸う強さ」は 60L/min位



カプセルをカプセル充填部に入れ、穴あけ用ボタン(針)を押して穴を開けるカプセルが吸気によって吸い上げられ、カプセルが回転して薬剤が放出される



吸気が弱い場合は、吸入器を少し上に傾けると、カプセルを吸気で持ち上げる力が少なくなり回転しやすくなります。

吸入療法③：デバイス編（レスピマット）



スピリーバ： 長時間作用型 抗コリン薬

出典：明日からできる吸入
指導，メディカルレビュー
社，初版，2012.

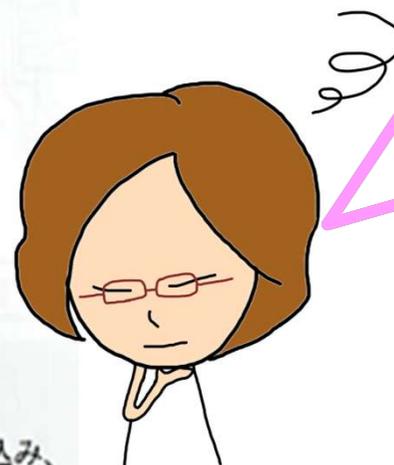
- 安定した微粒子エアロゾルの発生が可能である
- ソフトミストが持続的(約1.5秒)に噴射されるため、吸入の同調が容易である
- 噴霧ハンディヘラー(1日量18 μ g)の約1/4の薬剤量(1日量5 μ g)で同等の効果が得られる
- 噴霧ガスを使用していない
- 少ない吸気流速でも十分に肺胞まで到達する
- ハンディヘラーと比べて口渇の作用が少ない
- セット時および操作時に、ある程度の力が必要である



回転くん



レスピマットを上部に差し込み、
グリップを持って回転させる



透明ケースの回転が困難な場合は、「回転くん」という回転補助器具があります。薬剤師に相談してみましょう。

冬季は、しばれる場所に保管すると、吸入液が凍って噴霧できなくなります。室温保存するように説明しましょう。



吸入療法④：デバイス編（タービュイヘラー）



シムビコート(合剤):
長時間作用型
β₂刺激薬
+
吸入ステロイド薬

- 粒子径が小さいので（約2.0μm）、末梢気道まで届きやすく肺への到達率が高いので息止めの必要がない。
- 充填方法が簡単である。「クルツ」「カチツ」
- 吸入口がくわえやすく、口すぼめ呼吸ができる。
- 残量計が付いているがわかりにくい。
- 必要吸気流速は30L/分である。✖

✖「そばをすする強さ」、「ジュースをストローで吸う強さ」は 60L/min位



👉 **操作確認グリップ**
グリップを回す方向が理解できない場合や、グリップがうまく回せない場合に使用します。



吸入ステロイド薬に特徴的な、口腔カンジダや嘔声などの副作用は、含嗽で口腔内の薬剤を除去することで防止できます。

薬剤が終了してもカサカサ音がしますが、乾燥材の音なので、新しいものに取り替えてください。



吸入療法⑤：デバイス編（ディスクス）



アドエア(合剤)：
長時間作用型 β_2 刺激薬
+
吸入ステロイド薬



レルベア(合剤)：
長時間作用型 β_2 刺激薬
+
吸入ステロイド薬



長時間作用性
吸入 β_2 刺激薬

【吸入ステロイド】
副作用防止にうがいがある
有効です。うがいできない
時は、水やお茶を飲むこと
でも対処が可能です。
水で飲み込んでも副作用
の心配はありません。
開封後3か月経った薬は
破棄するよう
推奨されて
います。



患者の生活に合った吸入方法を考えましょう。

吸入は、アドヒアランスを維持するために、とくに高齢者は、食事や内服と同じ時間に設定するなどの工夫が必要です。日中の活動時間に薬がよく効くような時間設定も必要です。

- 吸入器が薬剤と一体になっているので操作が簡単である。
- 吸気同調が不要である。 ← **自分のタイミングで早く深く薬剤を吸う**
- カウンター付きなので残量の確認ができる。
- 必要吸気流速は30L/分である。 ※

※「麺をすする強さ」、「ジュースをストローで吸う強さ」は 60L/min位

A scenic landscape featuring snow-capped mountains in the background, a calm lake in the middle ground reflecting the sky and mountains, and a small white building with two dark-roofed towers on the right. The foreground shows green grass and some trees. A large, semi-transparent white circle is overlaid on the left side of the image, containing the text.

吸入療法の概要

吸入療法の多職種連携

吸入療法のセルフケア支援

砂川薬薬連携 吸入指導 現状を考慮したフロー (短期目線)

病院

いきなり、吸入連絡票の運用は無理なので、

調剤薬局での吸入指導の実績を残す！！



保険薬局

まずは、トレーシングレポートで吸入評価を報告してみませんか？
そのためには、指導内容、評価を統一が必要です

吸入指導を行い吸入指導評価表を記入

トレーシングレポート



吸入指導評価表をFAX返信(情報のフィードバック)

病院

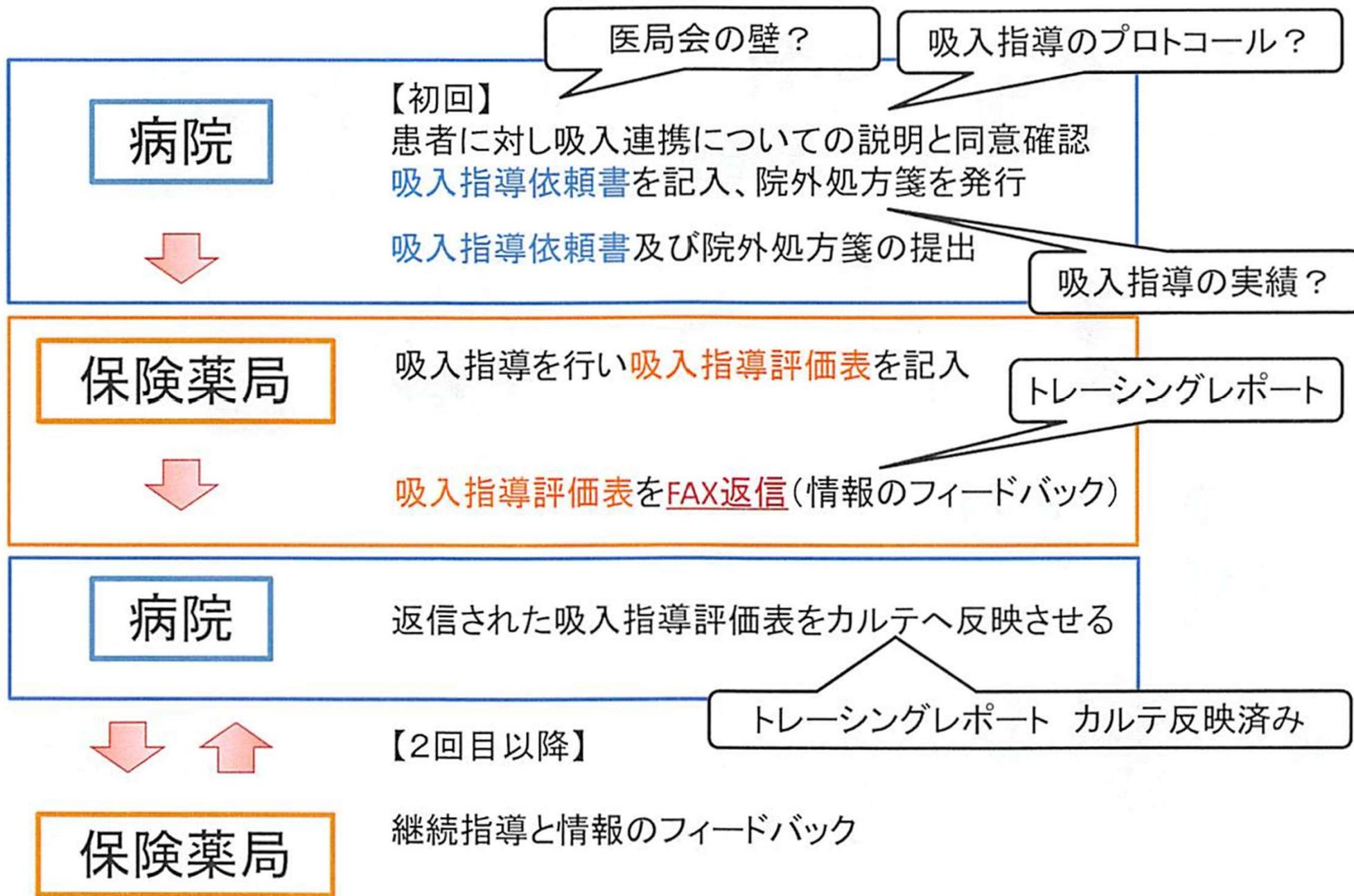
返信された吸入指導評価表をカルテへ反映させる

トレーシングレポート カルテ反映済み

上記運用に必要なもの、

統一評価シート&統一指導書 などなど

砂川薬薬連携 吸入指導 理想フロー（数年の長期目線と課題）



【注意】 患者情報フィードバック用紙による情報伝達は、疑義照会ではありません。
疑義照会は処方医へご確認ください

吸入指導における患者情報フィードバック用紙

処方科：		保険薬局：	
担当医：		電話番号：	
患者ID：		FAX番号：	
患者氏名：		担当薬剤師名：	Ⓜ

◆ この情報を伝えることに対して患者の同意を、

- 得た
 得ていないが、治療上重要だと考えられますので報告致します

本日処方されました、吸入薬に対して指導・評価いたしました内容をご報告いたします

吸入薬	薬剤製品名	アドエア		メプチンスイングヘラー	
	用法(吸入回数)を答えられるか	<input type="checkbox"/> 出来る	<input type="checkbox"/> 難あり	<input type="checkbox"/> 出来る	<input type="checkbox"/> 難あり
デバイスの操作を理解しているか？	<input type="checkbox"/> 出来る	<input type="checkbox"/> 難あり	<input type="checkbox"/> 出来る	<input type="checkbox"/> 難あり	
吸入前の息はき時、 吸入口に息がかからないようにできているか？	<input type="checkbox"/> 出来る	<input type="checkbox"/> 難あり	<input type="checkbox"/> 出来る	<input type="checkbox"/> 難あり	
吸入時の姿勢、デバイスのポジションは適切か？	<input type="checkbox"/> 出来る	<input type="checkbox"/> 難あり	<input type="checkbox"/> 出来る	<input type="checkbox"/> 難あり	
吸入の強さは適切か？	<input type="checkbox"/> 出来る	<input type="checkbox"/> 難あり	<input type="checkbox"/> 出来る	<input type="checkbox"/> 難あり	
吸入後の息止めはできているか？	<input type="checkbox"/> 出来る	<input type="checkbox"/> 難あり	<input type="checkbox"/> 出来る	<input type="checkbox"/> 難あり	
うがいは出来ているか？	<input type="checkbox"/> 出来る	<input type="checkbox"/> 難あり	<input type="checkbox"/> 出来る	<input type="checkbox"/> 難あり	

説明の内容(複数選択可能)

- 吸入説明書 口頭指導 動画使用
 薬剤師による実演 患者さんによる吸入実施 その他()

報告内容

吸入状況

- 問題なく使用可
 不安あり 経過観察必要

理由

- 介助があれば吸入可能 何度か練習すれば、何とか自分で吸入可能
 補助器具があれば吸入可能 吸入困難
 デバイス変更の考慮が必要 その他()
(選択理由:)
スプレーの使用
 有 無

所見・コメント

A scenic landscape featuring snow-capped mountains in the background, a calm lake in the middle ground reflecting the sky and mountains, and a small white building with two dark conical roofs on the right. The foreground shows green grass and some trees. A large, semi-transparent white circle is overlaid on the left side of the image, containing the text.

吸入療法の概要

吸入療法の多職種連携

吸入療法のセルフケア支援

吸入療法とセルフマネジメント

わかる できる つづける



吸入の同期

所見・コメント

平素は大変お世話になっております。

吸入薬初回の為、見本器を用いて指導を行ないました。

使用方法や注意点への理解は非常に良好ですが、薬剤ポンペを上手く押せるか心配されておりました。

実際にご本人に見本器を使用していただいたところ、両手を使わないと難しい様子でした。

噴霧と吸入の同期が難しい場合は、スパーサーの使用も必要と思われます。

毎日してますが、口から出てる

煙が出てから吸うんです



成分 添加物のみ含有。(無糖)

1. 医師等の

L'espace



わかってる できる

所見・コメント

指導時、エナジアも含め指導を行いました。
理解を立せておりましたが、1度の指導で十分理解できていますか、
電話でのフォローアップも必要と考えております。



医師:コンプライアンスが悪い

わかってる できる

Ns: 手順はわかっててちゃんとできるんです

Point  気道に届ける

Ns: 3回くらい吸えば粉がなくなる

Aさん: わかるよ、わかってる

Aさん: 毎日すればいいんでしょ

Aさん: できるから大丈夫

Point  タイミングを見つける

姉: 私が毎日言います

つづけたい

所見・コメント

10/23、代理で来た山下奥様に説明書とデモ器を用いて指導。
10/29、電話で本人に使用状況を確認。吸入に問題無し。
痰の出が良くなり症状改善しているとのこと。前立腺肥大治療中、
(疑義照会済)のため経過を確認。吸入開始から若干痰感
出ている様子。状況に応じて後診するようお願いしました。

咳も痰も出なくなった

咳したり痰出すのを周りの人や子供たちが嫌がる

続けたいから今日も欲しい

